

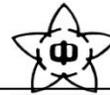


人権教育だより

京丹後市立大宮中学校

令和6年7月8日

No.5



人権学習を通して考えたこと

いじめは“いじめる人”と“いじめられる人”だけの問題ではなく、はやしたてたりおもしろがったりする“観衆”や見て見ぬふりをしたり、おびえたりしている“傍観者”という集団の存在が問題であるという「いじめの構造」を学習しました。今回は1年生の学びの紹介です。

(文章は一部編集しています)

1年生



「おもしろい」「楽しい」と思ってやったことは、やっている人はそう思うかもしれないが、された人や周囲の人たちがどう感じるかをしっかり考えていきたいし、やっぱり限度も大切だなと思った。人によってはじゃれ合いと感じるかどうかは違う。周囲の反応の仕方も雰囲気も大切だなと思った。

いじめは人の心を傷つけるし、最悪の場合は死に追い込むことがあるとても怖いことだなと思った。いじめている側はただの遊びや悪気があったわけではなく、いじめられている側がいじめだと思っていたらそれはいじめなので、気づいていないところで相手を傷つけているかもしれないと思った。これから言葉や行動には気をつけていきたい。

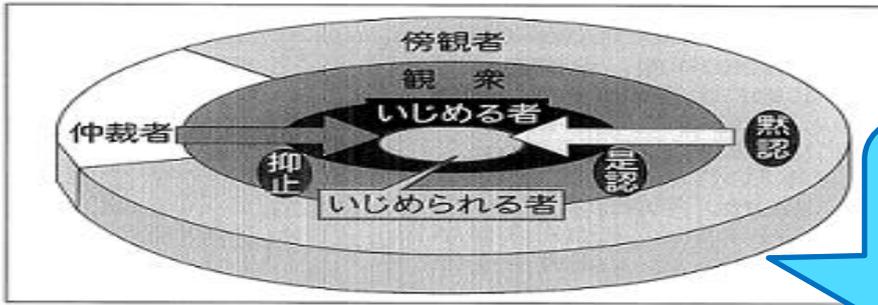
これまでの学習を通して、いじめが起きたら絶対にいじめられている人を守る側でありたい。理由は、周りに合わせて一緒にいじめてしまったら私がやっていることもいじめになるし、いじめられている方は周りから友達がいなくて不安で精神的に追い込まれて味方がいないと感じてしまうから。あのとき止めればよかったと後悔をしないためにも自分が少しでも心の救いになれたらいいなと思った。

いじめはすぐに広まるんだなと思った。仲裁者もいるとは思うけど、多くの人は「巻き込まれたくない」と思って観衆や傍観者になってしまうと思うが、見て見ぬふりはダメだし、自殺という最悪の事態になってはいけなから、やめさせるように行動に移した方が絶対にいいと感じた。また、一度やってしまったら相手は傷つくし、自分も罪悪感が残って一つもメリットなんてない。手遅れになる前に立ち止まったり、やめたりすることができるはずだ。

前よりもいじめのことについて考えられた。いじめは絶対にしてはいけないことだと改めて思ったし、傍観者が助けることができたなら状況が変わるのではないかなと思った。いじめられている人はとても辛く、その辛さや苦しきは本人にはわからないけど、その辛さを理解しようとし、勇気を出せるかが大切だなと思った。どうしたらいいかはみんなの行動や雰囲気で変わると思う。

いじめはする側の問題ではあるが、周りの人がどうするかで変わることを学んだ。学習で観たDVDでは、何人かで止めようと行動をしたことでいじめを止めることができた。他の学習でも、周りの人は見ているだけではなく、自分で努力して止めに入っていたり、先生や家族に相談したり、誰かが何らかの行動をしないといじめは止まらないことが分かった。

だからもし、いじめられている人がいたら一人ではなく仲間を集めて寄り添ったり先生に相談したり、行動に移そうと思った。



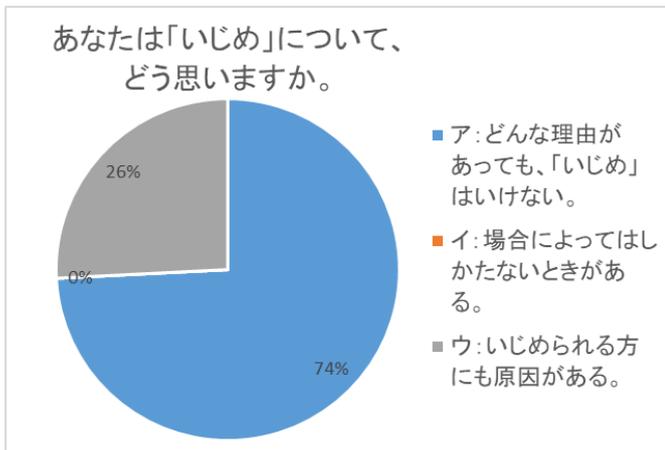
「いじめの構造」のイメージ図
問題が起こった時、
自分はどの位置にいるのか
客観的に見られるようにしましょう。

今回学んだことは、当たり前だけれど「いじめはだめ」だということ。いじめはけがをしたときにできた傷よりも回復が遅いし、傷も深いと思う。いじめが原因で自殺したというニュースも聞かすが、それだけ傷が深いと思う。

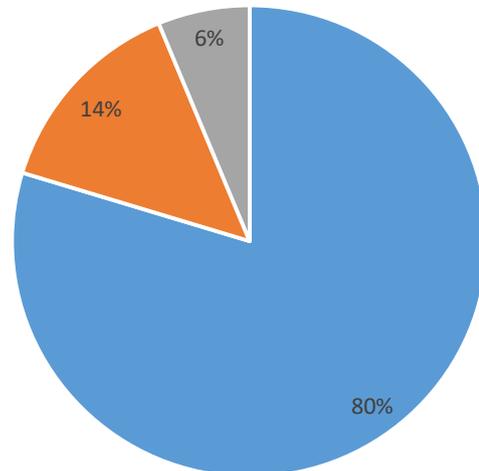
誰かがいじめられている時、自分の安全を優先してその人を無視してしまったり、避けてしまったり...そういうことがいじめられている側はよりつらいことが分かった。勝手な偏見や印象でその人に対するイメージがついて、それがいじめへと発展してしまう時があることも分かった。

いじめは誰かを傷つけることになるので、あってはいけないことだと思った。いじめの構造やいじめをされている場面に出くわしたらどういう行動をとればいいのか考えることができた。もしいじめの場面を見かけたら、この学習のことを思い出して自分のできることをしていきたい。いじめは誰かがやめないといけないことなので、みんなでいじめの起こらない良い雰囲気を作っていきたい。

人権学習前のアンケート結果



人権学習後のアンケート結果



学習前には「いじめられる方にも原因がある」と考える割合が 1/4 を占めていましたが、学習後には少し変化が見られましたね。これからも人権学習をしていきますが、学習している時だけが人権について考える時ではありません。人権とは、日常生活そのものです。

感想の中に「もしかしたら、私が気付いていないだけで誰かを傷つけてしまっているかもしれない」というものがありました。そのようなことに気付けることが学習の成果です。自分が話す言葉や行動一つひとつにどのような意味があるのか、相手はどのように感じるのか、自分の言動を振り返るきっかけにこの学習がなっていたら嬉しいです。

